

# 2016年3月期 第3四半期決算概要

**NS 日進工具株式会社**

～超硬小径エンドミルのトップランナー～

2016年1月29日  
(証券コード6157)

# 目次

<b>1. 2016年3月期 業績予想の修正</b>	P. 2 … 業績予想の修正
<b>2. 2016年3月期第3四半期の業績</b>	P. 3 … 第3四半期決算の概要 P. 4 … 営業利益の増減要因 P. 5 … 損益計算書サマリー P. 6 … 貸借対照表サマリー P. 7 … 四半期業績推移
<b>3. 2016年3月期の重点戦略と 配当予想</b>	P.13 … 2016年3月期の重点戦略 P.14 … 配当予想
<b>&lt;参考資料&gt;</b>	P.15 … 過去5年間の業績と主要データ推移 P.16 … 株価推移とバリュエーション P.17 … IR情報サイトのご案内

# 業績予想の修正

(百万円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 期初予想	2016年3月期 今回予想	前期比	期初予想比
売上高	7,402	8,200	8,010	+8.2%	-2.3%
営業利益	1,481	1,630	1,870	+26.3%	+14.7%
経常利益	1,534	1,660	1,910	+24.5%	+15.1%
当期純利益	973	1,100	1,260	+29.4%	+14.5%
設備投資額	612	1,412	1,412	+130.7%	—
減価償却費	474	568	568	+19.6%	—
EPS	155.69円	175.95円	201.54円	+29.4%	+14.5%
1株当たり配当金	40円	45円	50円	+25.0%	+11.1%

□ 売上高はほぼ想定通りの推移となったが、増産効果や自動化の推進等から利益率が改善。中国の景気減速等懸念材料はあるものの、第3四半期までの進捗状況から、一定の利益は確保できるものと考え、利益見込み及び配当予想を上げた。

□ 売上高は10月29日の修正値から変更なしで前期比+8.2%を見込む。なお、期初予想に対しては若干のマイナス。営業利益は同修正値から90百万円、経常利益は100百万円、当期純利益は60百万円アップを見込む。

□ なお、利益面では第3四半期で前年度の水準に並んだ。

# 第3四半期決算の概要

## 売上高・経常利益ともに 順調に推移

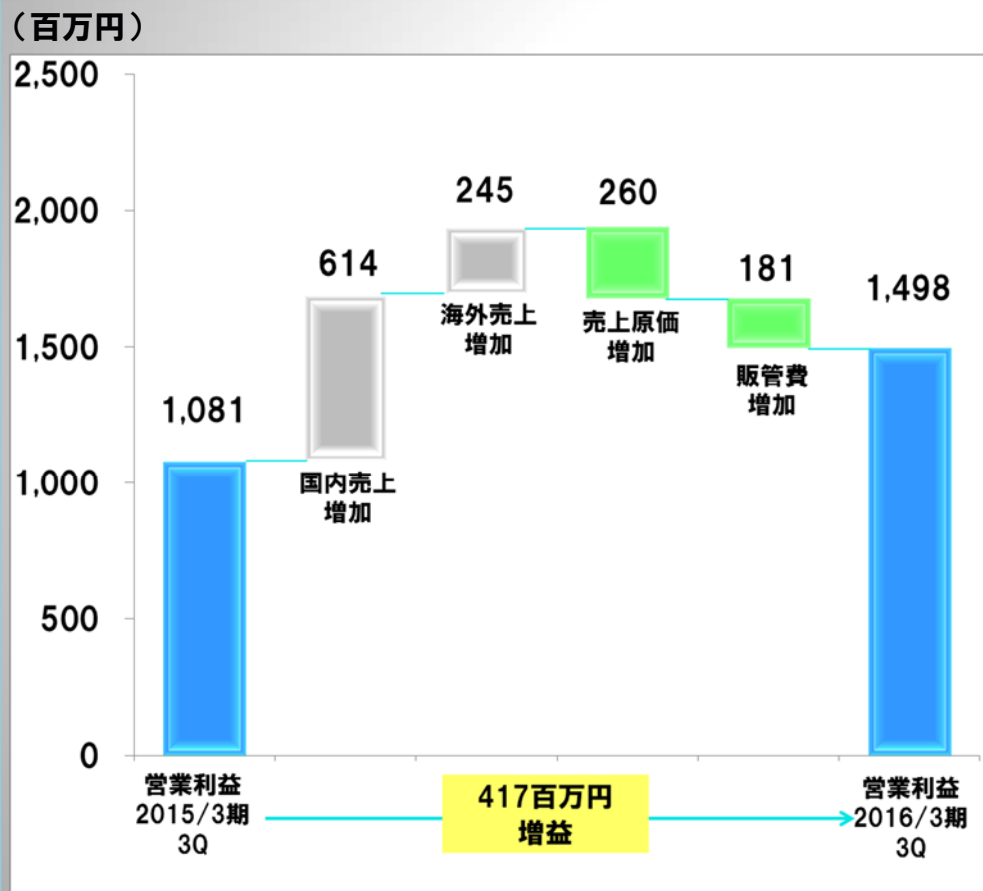
(百万円)

	2015年3月期 3Q累計	2016年3月期 3Q累計	通期予想	進捗率
売上高	5,469 ( +16.4% )	6,329 ( +15.7% )	8,010 ( +8.2% )	79.0%
営業利益	1,081 ( +42.0% )	1,498 ( +38.6% )	1,870 ( +26.3% )	80.1%
経常利益	1,120 ( +42.5% )	1,534 ( +37.0% )	1,910 ( +24.5% )	80.3%
四半期純利益	732 ( +46.9% )	1,021 ( +39.4% )	1,260 ( +29.4% )	81.0%

※( )内は前年同期比増減率

- 中国を始めとした新興国市場の減速や欧州メーカーによる排ガス不正問題等マイナス要因はあったものの、米欧向けが好調な自動車関連、スマートフォンや車載システム向けが伸びている電子部品関連に牽引され、小径工具需要は引き続き堅調に推移した。
- この結果、売上高は前年同期比15.7%増の6,329百万円。
- 経常利益は前年同期比37.0%増の1,534百万円。売上高経常利益率は同3.7ポイントアップの24.2%。

# 営業利益の増減要因



- 国内売上高は前年同期に比べ14.4%アップ、海外売上高は20.2%アップとなり、売上高全体では860百万円増加の15.7%アップ。
- 製造費用では、材料費や外注費といった変動費が前年同期比で12.2%増加したが、労務費や製造経費といった固定費は逆に1.3%の減少となった。これにより売上原価も260百万円、9.6%の増加に止まった。
- 販管費は、業績アップに伴う人件費の増加等により181百万円、10.9%増加した。
- これらにより、営業利益は38.6%増加の1,498百万円。売上高営業利益率は3.9ポイント上昇し23.7%。

# 損益計算書サマリー

(百万円)

	2015年3月期 3Q累計	2016年3月期 3Q累計	前年同期比
売上高	5,469	6,329	+15.7%
売上総利益 (率)	2,741 (50.1%)	3,340 (52.8%)	+21.9%
販管費 (率)	1,660 (30.4%)	1,842 (29.1%)	+10.9%
営業利益 (率)	1,081 (19.8%)	1,498 (23.7%)	+38.6%
経常利益 (率)	1,120 (20.5%)	1,534 (24.2%)	+37.0%
四半期純利益 (率)	732 (13.4%)	1,021 (16.1%)	+39.4%
設備投資額	382	913	+139.0%
減価償却費	345	354	+2.7%
従業員数	281人	276人	-1.8%

- 自動車や電子部品向けに牽引され、小径エンドミル需要が引き続き堅調に推移したことから、売上高は前年同期比15.7%増加の6,329百万円。
- 増産効果を主因に、売上総利益率が2.7ポイント向上したこともあり、売上総利益は前年同期比21.9%増加。
- 販売管理費は前年同期比10.9%の増加、販管費比率は29.1%と若干低下した。
- これにより営業利益は前年同期比38.6%増加の1,498百万円。売上高営業利益率も23.7%と3.9ポイント上昇した。

※( )は売上高に対する比率

# 貸借対照表サマリー

(百万円)

	2015年 3月期	構成比	2016年 3月期3Q	構成比	前期比
(資産の部)					
I 流動資産	6,711	64.9%	6,730	62.3%	+0.3%
現金及び預金	3,716	35.9%	3,747	34.7%	+0.8%
受取手形及び売掛金	1,264	12.2%	1,325	12.3%	+4.8%
棚卸資産	1,509	14.6%	1,433	13.3%	-5.0%
II 固定資産	3,628	35.1%	4,070	37.7%	+12.2%
有形固定資産	3,172	30.7%	3,606	33.4%	+13.7%
無形固定資産	143	1.4%	144	1.3%	+0.7%
投資その他の資産	312	3.0%	319	3.0%	+2.3%
資産合計	10,339	100.0%	10,801	100.0%	+4.5%
(負債の部)					
I 流動負債	1,439	13.9%	1,113	10.3%	-22.7%
買掛金	277	2.7%	249	2.3%	-10.0%
II 固定負債	419	4.1%	439	4.1%	+4.9%
負債合計	1,858	18.0%	1,553	14.4%	-16.4%
(純資産の部)					
純資産合計	8,480	82.0%	9,248	85.6%	+9.1%
負債・純資産合計	10,339	100.0%	10,801	100.0%	+4.5%

□ 流動資産では、売上高が堅調に推移したことから、売上債権が増加した一方、棚卸資産は製品在庫を中心に減少。

□ 固定資産は、新工場棟建設に伴う建設仮勘定や機械設備の増加から有形固定資産が増加。

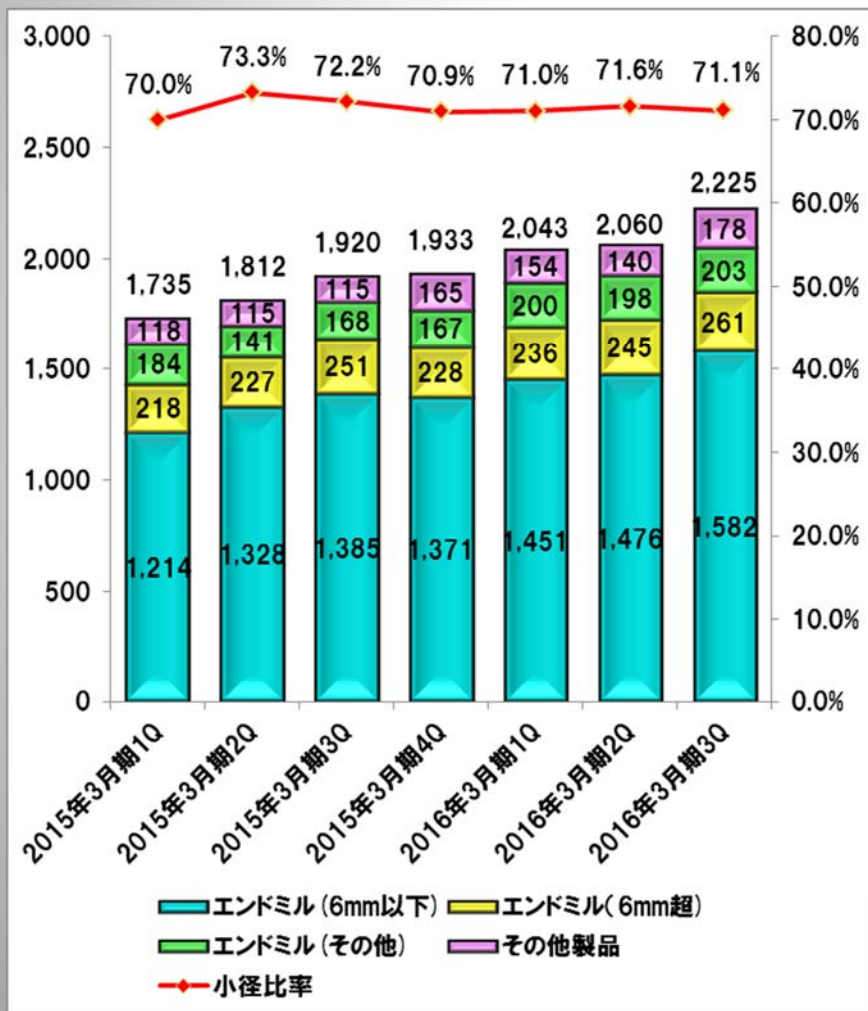
□ 流動負債では買掛金や未払法人税等が減少。

□ 純資産は前年度末比9.1%増加し9,248百万円。負債の減少と純資産の増加により、自己資本比率は85.6%と3.6ポイント上昇した。

# 【四半期業績推移】売上高の推移① 製品別

## 製品別売上高と小径比率の推移

(百万円)



□ 小径エンドミル市場では堅調な需要環境が続き、当第3四半期における売上高は前年同期比+15.9%、前四半期比+8.0%の2,225百万円となった。四半期ベースでみると9四半期連続で前四半期比プラスとなり、過去最高を更新。

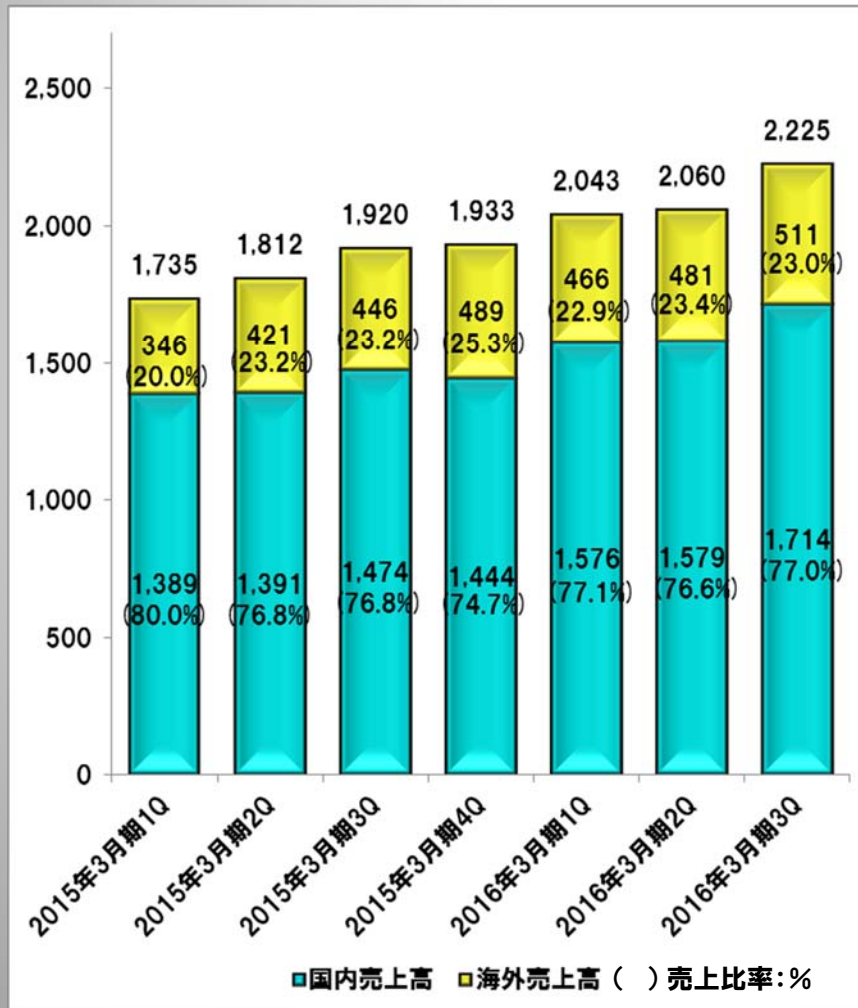
□ 製品別では、全ての製品が増加したが、堅調な工具需要を背景に工具メーカー向けの工具ケース売上が増加したため、その他製品の増加率が前年同期比+55.2%と目立った。小径比率は71.1%で、前年度4Qからほぼ同水準で推移している。



# 【四半期業績推移】売上高の推移② 国内・海外

## 国内・海外売上高の推移

(百万円)



□ 海外売上高は、前年同期比14.6%増、前四半期比6.2%増の511百万円と、初の5億円台乗せ。

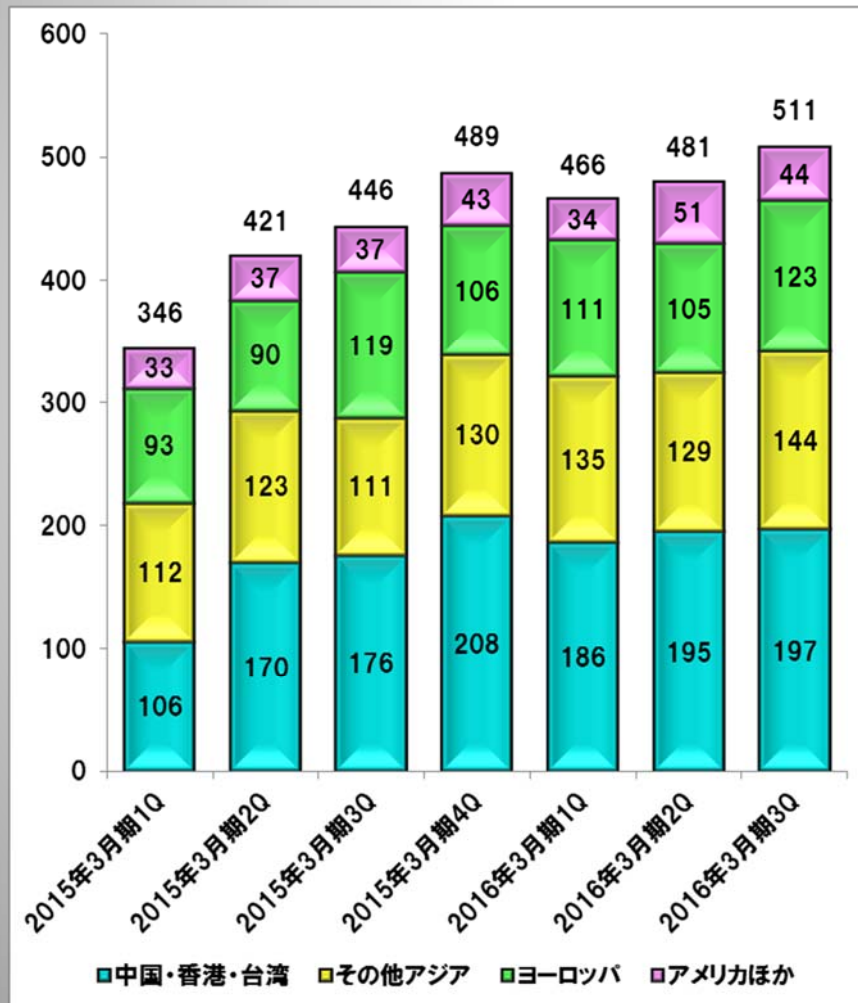
□ 国内売上高は、米欧向けが好調な『自動車関連』や、需要が堅調な情報機器向けに加えて今後は車載システム向けも期待される『電子部品関連』に牽引され、順調に推移。前年同期比16.3%増、前四半期比8.5%増となり17億円台に乗せた。

□ 海外向けも伸びたものの、国内向けの増加率が上回ったため、海外比率は前年同期比0.2ポイント、前四半期比0.4ポイントのダウンとなった。

# 【四半期業績推移】売上高の推移③ 海外地域別

## 海外地域別売上高

(百万円)



□ 各地域ともに前年同期比ではプラスとなったが、足元では中国・香港・台湾とアメリカほかは横ばいの動き。

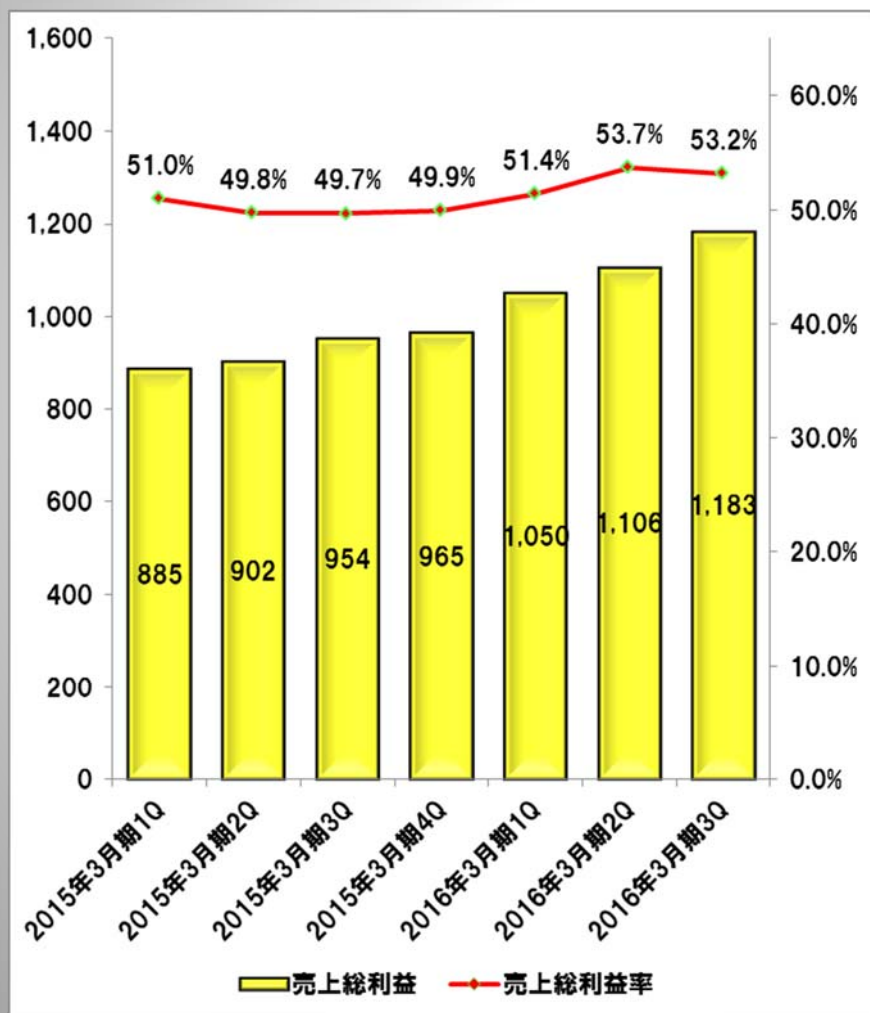
□ 中国・香港・台湾向けではスマートフォン関連が中心。特に中国向けはNS香港（子会社）経由で、連結にあたって3ヶ月のずれがあるため、今後主力現行モデル減産の影響が出てくるとみられる。

□ その他アジア（＝中国・香港・台湾を除く地区）とヨーロッパ向けは、やや持ち直す動きとなったが、個別要因による部分が大きい。

# 【四半期業績推移】売上総利益の推移

## 売上総利益と売上総利益率の推移

(百万円)



□ 前年同期に比べ生産数量が増加したことから、変動費である原材料費と外注加工費は増加したものの、固定費部分が多い労務費や製造経費の上昇は抑えられた。

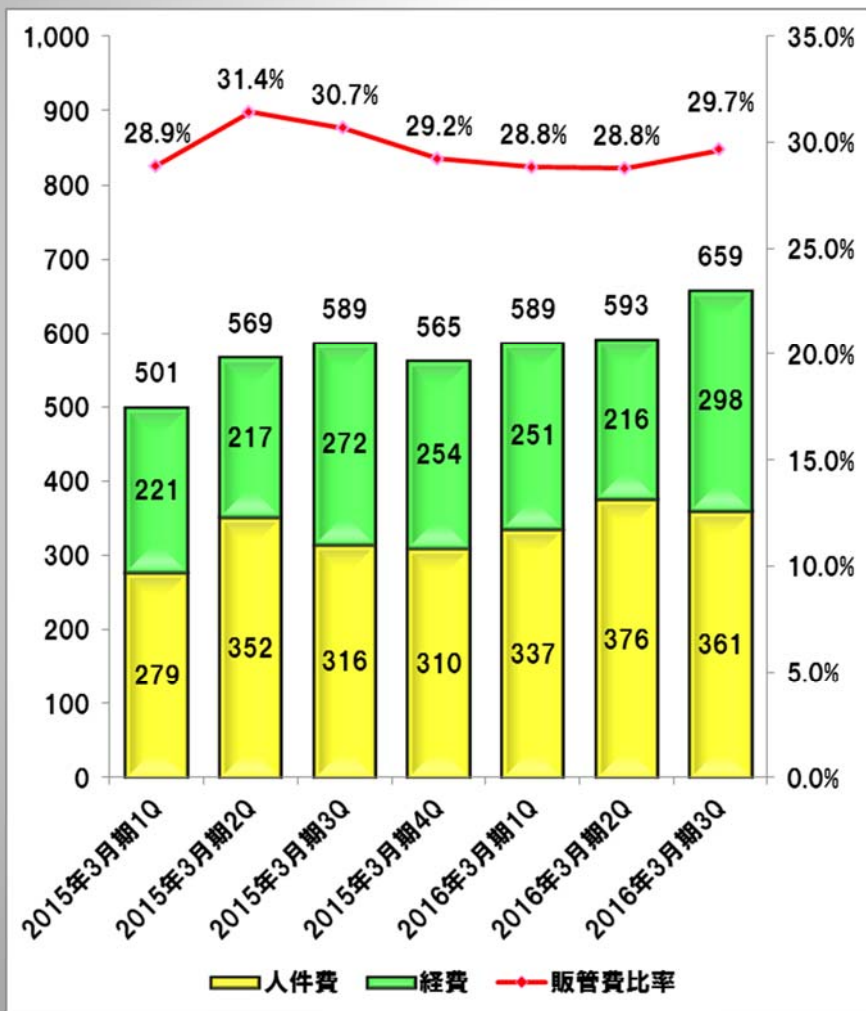
□ 売上原価は前年同期比+7.8%の1,041百万円。売上高の増加率15.9%に比べ半分程度の増加率に止まった。

□ これにより売上総利益は前年同期比24.0%増の1,183百万円と上昇。売上総利益率も53.2%と高水準であったが、売上好調により前期に比べ棚卸資産が減少したこともあって、前四半期比では0.5ポイントの低下であった。

# 【四半期業績推移】 販管費の推移

## 販管費と販管費比率の推移

(百万円)



□ 人件費は、技術部門の一部が生産部から開発部に移った影響（製造原価から販管費へ）等から、前年同期比では14.1%増加した。なお、前四半期は賞与引当金積み増しの影響により高水準であった。

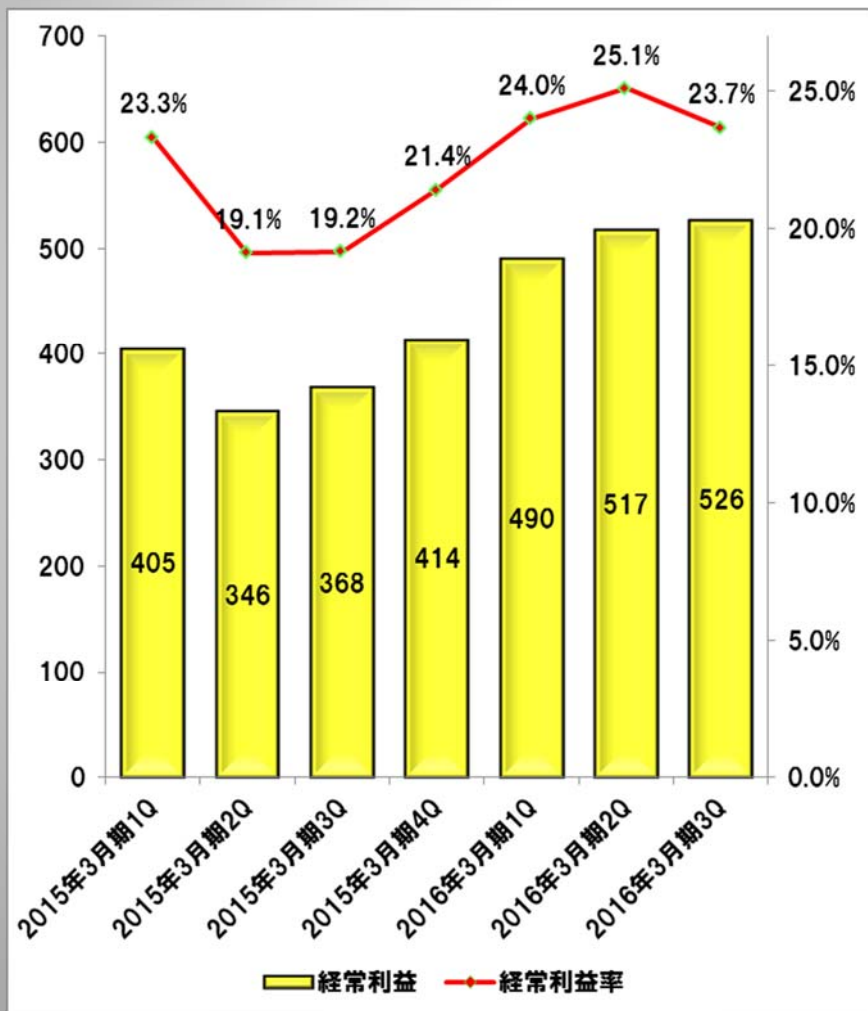
□ 一般経費では、新販売システム稼働により減価償却費が増加したが、カタログ更新のあった前年同期に比べ、広告宣伝費が少なくなったこと等から9.6%の増加に止まった。なお、大きな展示会等のなかった前四半期に比較すると、38.1%増であった。

□ これらにより販管費全体は前年同期比12.0%増加の659百万円。売上高販管費比率は29.7%と、1Q・2Qの28.8%から0.9ポイント上昇してしまった。

# 【四半期業績推移】 経常利益の推移

## 経常利益と売上高経常利益率の推移

(百万円)



□ 好調な市場環境から売上高が順調に推移するなか、経常利益は526百万円と前年同期を43.1%上回り、四半期での過去最高を更新。

□ 売上高経常利益率は23.7%と前年同期の19.2%は上回ったが、海外での展示会や新販売管理システム稼働による減価償却費の上昇等から、1Q・2Qに比べ低下した。

# 2016年3月期の重点戦略

## ポイント

人材

品質

- ✓ 優秀な人材の育成
- ✓ NS品質の維持向上

連結売上高80億円の達成と  
経常利益率20%の確保

人材:精密・微細加工に  
特化した専門家集団

品質:精度と安定性への  
飽くなき取り組み

生産

自動化の推進  
製造技術向上による  
更なる高精度化の実現

販売

新規ユーザーの開拓  
既存ユーザーの深耕  
海外市場の拡大

開発

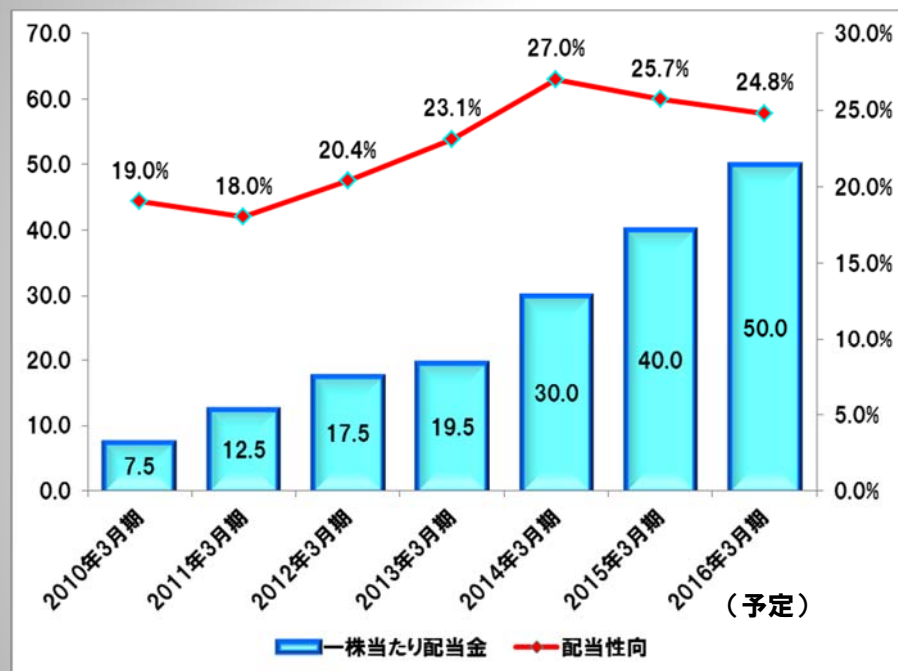
画期的な高付加価値製品  
の開発

持続的成長の実現

# 配当予想（株主還元について）

## 配当金と配当性向の推移

（円）



**業績に応じた利益還元**

**（配当性向20%を目処）**

- 2015年3月期の配当金は10円増配となる1株当たり40円
- 2016年3月期は増益を見込むため1株当たり50円を予定（業績予想に対する配当性向は24.8%）

※ 2014年10月1日付実施の株式分割の影響を考慮しています

**自社株買いではなく配当にウェイトを置く方針**

# 過去5年間の業績と主要データ推移

(百万円)

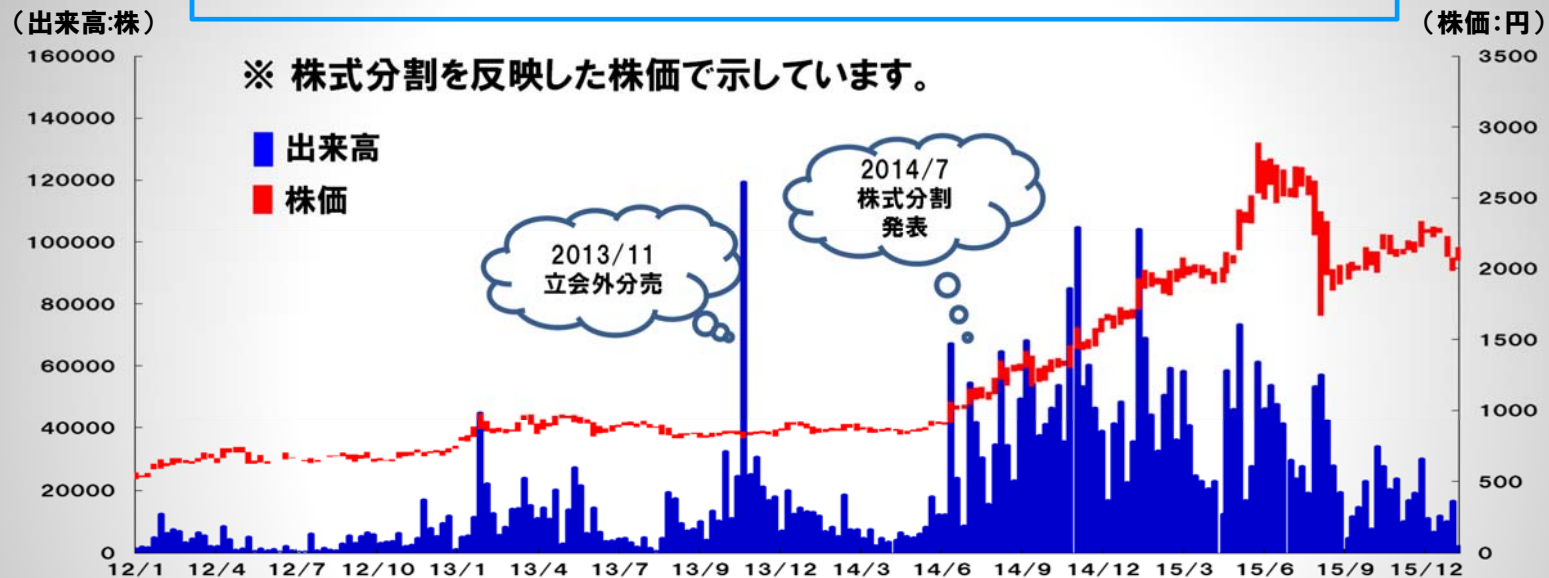
	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
売上高	4,977	5,781	5,997	6,418	7,402
営業利益(率)	794 (16.0%)	962 (16.7%)	921 (15.4%)	1,069 (16.7%)	1,481 (20.0%)
経常利益(率)	834 (16.8%)	1,032 (17.9%)	951 (15.9%)	1,107 (17.2%)	1,534 (20.7%)
当期純利益(率)	426 (8.6%)	535 (9.3%)	527 (8.8%)	694 (10.8%)	973 (13.1%)
有利子負債額	0	0	0	0	0
純資産額	6,164	6,678	7,106	7,680	8,480
総資産額	7,143	7,906	8,297	9,075	10,339
自己資本比率	86.3%	84.5%	85.6%	84.6%	82.0%
設備投資額	274	1,051	1,001	469	612
減価償却費	440	471	563	534	474
1株当たり 配当金	12.5円	17.5円	19.5円	30円	40円
従業員数	206人	232人	281人	284人	281人

※ 2014年10月1日付実施の株式分割の影響を考慮しています



# 株価推移とバリュエーション

## 週速ベース株価推移(2012年1月～2016年1月)



**2014年10月1日に1株 ⇒ 2株の株式分割を実施**

バリュエーション (2016年1月26日現在)

売買単位	: 100株	単元株価格	: 20万5,000円
時価総額	: 128億円	PER (16/3期予想)	: 10.17倍
ROE (15/3期実績)	: 12.0%	PBR (15/3期実績)	: 1.51倍

# IR情報サイトのご案内



**メニュー表示**  
 「トップメッセージ」、「よくあるご質問」、「IRお問い合わせ先」  
 ⇒メニュー名クリックで各ページに移動します

それ以外はメニューにカーソルを合わせると各メニューの詳細ページ項目が表示されます  
 （項目クリックで該当ページに移動できます）

**投資家の皆様へ**  
 投資家の皆様に特にご覧頂きたいページをピックアップしています

**IRニュース**  
 適時開示情報や説明会のお知らせ、レポート更新など最新のIR情報を掲載しています  
 「IRニュース一覧へ」をクリックすると、表示されていない過去のIRニュースをご覧いただけます

**メニュー項目**  
 ワンクリックで各メニューの詳細ページに移動できます

**URL: <http://www.ns-tool.com/ir/>**

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください

# お問い合わせ

## 日進工具株式会社

執行役員管理部長 田島 寛  
管理部IR担当 今関 弘毅 ・ 松尾 友紀子

TEL : 03-3763-5672  
FAX : 03-3764-8225  
E-mail : [ir@ns-tool.com](mailto:ir@ns-tool.com)

将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、  
確約や保証を与えるものではありません。  
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。